

無駄は減るか

政府は道路特定財源の一般財源化を決めた。年間五兆円もの税収を自動的に道路予算に充てることで、五十九兆円が必要」とした道路中期計画は二〇〇二年時点の推計が前度ではなくなる。しかし本当に必要な分野に予算が回るかは、無駄が多いとされた。三〇年の需要推計は推計があることが判明した。三〇年の需要推計は八・七%も下振れる。

増え続ける予測

国会論戦で批判を浴びた道路の需要推計。将来の利用見通しを試算したものが問われたが、〇七年の数などの予測を加味して推計なら正確か。

需要推計は五年ごとの交通量調査に、将来の経行距離を掛け合わせた数値で示す。

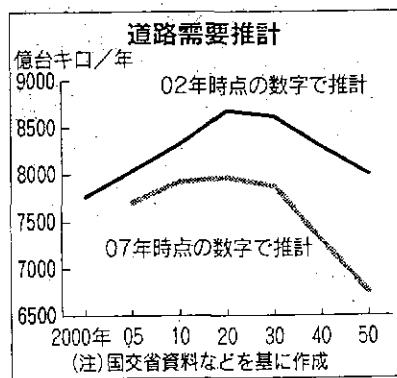
「水増し請求だ」――。

国会では推計の「鮮度」が問われたが、〇七年の数などを「有台数、運転免許取得者」として示す。しかし都市への人口集中、若者の車人気の低下、などがある。

国土交通省が「十年間で五十九兆円が必要」とした道路中期計画は二〇〇二年時点の数字で推計。しかし〇七年時点の数字で推計。しかし〇七年時点の数字で推計があることが判明した。三〇年の需要推計は八・七%も下振れる。

中立・透明性の向上急務

需要推計の「水増し」



減り日常の車の利用が増える」からだ。しかし都市への人口集中、若者の車人気の低下、などがある。長距離ドライブより「生活の足」に向く軽自動車比率の増加――などの情勢変化が交通量にどうのような影響を与えるか。わかりやすく説明できなければ、推計に国交省の「裁り」で、不採算の道路をつくりた事例は枚挙にいとまがない。神奈川県と千葉県を結ぶ東京湾アク

量」が紛れ込む。国交省は「高齢者や女性の免許保有率が高まる

道路公団民営化の際も、アライン。当初の事業計

算する。営業など業務だけでも買い物物、ドライ

ブも含む。「時給三千七百円の人が日本全国に何

人いるんだ」。国会論戦

でも「過大な見積もり」をして批判を浴びた。

国交省は省内に立ち上がり絞り込む仕組みづくりが急務となる。

省がようやくデータを開示すると、運転免許保有率を過大に見積もっていたことがあった。

「時給三千七百円」換算

道路の費用対効果分析

が不正確という問題もある

ンバ」は国交省が選定

し、中立性に疑問が残る。

道路をつくる側の国交省

が需要推計をする限り、

道路をつくること

が需要推計をする限り、

時間が一時間増す。この効

果を乗用車の場合、一時

面は否定できない。「国

交省から独立した第三者

機関が望ましい」(経済

官庁幹部)。政府内でも

見て直し論がくすぐる。

需要推計の透明性を高め、専門家や住民らが「無駄な道路」をチェックす

る。「本当に必要な道路」

が急務となる。